

〈外部の方々から頂いた意見〉

（保護者）

- ＊ 児童クラブ専用室の増設をしてほしい。
- ＊ 児童クラブの閉所時刻を延長してほしい。

（地域ボランティア）

- ＊ 放課後子ども教室では、子ども達が自主的に遊び、学びに積極的に取り組んでいる。子ども達の吸収力は素晴らしい。

（子ども）

- ＊ もっといろいろな遊びを教えてほしい。
- ＊ いろいろな学年の友達と遊べて楽しい。

Ⅱ 図書館事業

平成30年度に関しては、指定管理者の運営によるものです。令和元年度より、運営が市直営に変更となっているため、今後の課題と対応の方向性に関しては、市が直接対応していきます。

1 いつでも気軽に気持ちよく利用できる図書館

全ての市民に、気軽にいつでも気持ちよく利用される図書館を目指します。

項 目	1 市民の意向を反映した図書館運営
目標・取組概要	市民ニーズや要望を的確に把握し、市民が求める図書館運営を行います。
自己評価	利用状況は、一日平均貸出者821人、年間の市民一人当たりの平均貸出点数が14.49点で、県内2位です。 開館日数や開館時間の拡大により、利用者がいつでも利用できる環境を整備し、高い利用実績を維持することができました。
今後の課題と対応の方向性	直営による運営再開後も、開館日や開館時間は変更ありません。また、好評だったサービスは継続するとともに、自治体による運営の特色を出していく必要性があります。 運営形態が変わっても、利用者がいつでも気持ちよく利用できるよう、スタッフの業務遂行能力向上に努める必要があります。そのため、日常的なOJTの実施や各種研修会等への計画的参加に努めます。

〈外部の方々から頂いた意見〉（利用者〔アンケートより〕）

- ＊ 市直営の運営になっても、開館日や開館時間を変えないでほしい。

項 目	2 多様な資料の収集・整理・保存
目標・取組概要	市民が多様な情報を容易に得ることができるよう、図書資料の収集・整理・保存に努めます。また、視聴覚資料、逐次刊行物の収集・整理に努めるとともに、電子媒体資料の充実にも努めます。

自己評価	図書資料15,029冊, 視聴覚資料471点, 雑誌341タイトル, 新聞32種を収集して, 資料の充実を図ることができました。		
	平成30年度県内市町村図書館資料費		
	順位	市町村名	市民1人当たり (円)
	1位	守谷市	497
	1位	神栖市	497
	3位	潮来市	478
	4位	笠間市	448
	5位	東海村	440
今後の課題と対応の方向性	市民一人当たりの資料費は, 県内で最高水準です。今後も市民の求める図書や情報の収集, 提供に努めるとともに, 地域・行政資料の収集・保存にも努めます。		

項 目	3 市民との協働
目標・取組概要	図書館と市民ボランティアの協働で各種行事を展開することにより, 市民の利用促進を図ります。
自己評価	① 図書館を拠点に市民参加型ボランティアが「読み聞かせ, 本の修理, 音訳テープの作成等」積極的な活動を行っています。ボランティアによるおはなし会を年間164回, 本の修理を週2日, ボランティア活動体験会「修理編」を行うなど, 市民との協働による図書館運営を進めることができました。 ② 保健センターが実施する3・4か月児健診時にブックスタートを実施し, 延べ578人の乳児の参加がありました。親子のコミュニケーションの大切さを伝えるため, ボランティアによる読み聞かせや絵本の無料配布を行い, 早くから本と触れ合う機会を設けるなど, 親子のふれあいを支援しました。 ③ 図書館ボランティアとの協働により, 図書館見学会, 子ども向けイベントを開催しました。   図書館ボランティアによる読み聞かせ
今後の課題と対応の方向性	世代交代があっても活動が途切れることのないように, ボランティアの育成と支援に継続的に取り組む必要があります。

〈外部の方々から頂いた意見〉(ボランティア〔アンケートより〕)

* スタッフの対応が親切で良い。

＊ 直営に戻っても、現状維持以上の運営をお願いします。

2 図書館機能の強化とサービスの充実

市民の知的要求を保障し、日常生活に生かすため図書館機能の強化とサービスの充実を図ります。

項 目	1 図書館ネットワークの活用
目標・取組概要	図書館ネットワークの活用により、市民が求める資料及び情報を効率的、効果的に提供するサービスを行います。
自己評価	図書館ネットワークを活用して、中央図書館及び公民館図書室において、利用者に対して利用案内、各種情報提供及び貸出等のサービスを提供することができました。
今後の課題と対応の方向性	図書館資料の予約・リクエストは、一日平均624.6件と昨年度実績をやや下回りましたが、資料準備後のキャンセル数は増加傾向にあります。Web 予約数に上限を持たせるなどの必要性について検討する必要があります。

項 目	2 子ども読書活動推進
目標・取組概要	学校、保育所、認定こども園、幼稚園との連携を強化し、子ども読書活動への支援を推進します。
自己評価	子どもの読書週間に合わせ、小学生以下の子どもを対象としたブックラリーの実施、ぬいぐるみのおとまり会、クリスマスや節分など行事に合わせておはなし会を開催し、図書館を身近に感じてもらい、図書館を利用してもらえるように取組ました。また、小学校へのブックバック(*10)の貸出、中学生を対象とした本の帯コンテストを実施しました。
今後の課題と対応の方向性	第三次計画に基づく取組を基盤に、次期計画への課題等の洗い出しを実施します。また、図書館を利用する機会の少ない子どもたちに、図書館を身近に感じてもらえるイベント等の開催に継続的に努め、子どもたちの読書活動を推進します。 学校教育改革プランを受け、市内の小・中学校、指導室と連携を図りながら、学校図書館充実のための支援を行います。

3 施設・設備の安全

施設や設備の安全に留意して、誰にでも使いやすい図書館を目指します。

項 目	1 良好な施設環境の整備
目標・取組概要	保守点検及び修繕に努め、市民に快適な空間を提供できるよう努めます。
自己評価	指定管理者と市が協力し、お互いの分担の範囲における修繕や改善を実施し、利用者への快適な空間提供に努めました。

今後の課題と
対応の方向性

建設から24年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。空調設備改修などの大規模修繕等について、計画的に実施していく必要があります。

〈外部の方々から頂いた意見〉（利用者〔アンケートより〕）

- ＊ 清潔で気持ち良い。

【用語の解説】

- ＊1 学習支援ティーチャー・社会人TT・・・市内の小中学校に、教員と連携して複数の指導者による学習指導(チームティーチング)や少人数指導を行う守谷市独自の支援事業です。生活指導や学習指導にあたることができる学習支援員を配置し、個に応じたきめ細やかな指導を行っています。
- ＊2 スクールソーシャルワーカー・・・児童生徒の諸問題に対して、保護者や教職員と協力しながら解決を図る専門職です。心理的なアプローチをしながら問題の解決を目指すスクールカウンセラーに対して、スクールソーシャルワーカーは、児童生徒を取り巻く環境に働きかけをしながら諸問題にアプローチします。
- ＊3 訪問型支援「アウトリーチ」・・・アウトリーチとは本来、手を差し伸べるといった意味をもち、介護や福祉の分野において用いられている用語で、ソーシャルワークや福祉サービスを提供する機関が利用希望者に手を差し伸べ、利用を実現させる取組を「アウトリーチ」と言います。教育の分野においては、教育支援センターを中核として、不登校等児童生徒の諸問題への対応においても、アウトリーチがよりよい効果を及ぼす可能性が高いと言われています。このような背景からも、教育支援センターと学校が連携しながら不登校児童生徒の家庭を訪問し、保護者に対して相談や情報提供をしたり、児童生徒の実態に応じて学習支援や登校刺激を行ったりする援助支援を、守谷市総合教育支援センターにおけるアウトリーチとして位置付け取り組んでいます。
- ＊4 ICT・・・「Information and Communication Technology(情報通信技術)」の略で、パソコンやスマートフォン、タブレット、電子黒板など、さまざまな形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称です。
- ＊5 インタラクティブ・フォーラム・・・茨城県英語教育研究部の主催による、中学校2年生と3年生の生徒を対象とした英会話のコンテストです。ある話題に基づいて英語で会話を交わしながら英語を用いて双方向的かつ論理的にコミュニケーションを図る力を高めることを目的としています。各学年から3名の代表生徒が市大会に参加します。
- ＊6 プログラミング・・・自分が意図する動きを実現するために、コンピュータに指示を与えることをプログラミングと言います。例えば、スマートフォンで使われているアプリなども、プログラミング（例：メールを読んだら既読にするという動きをコンピュータに指示（プログラム）する）により作られたものです。

- ＊7 エドテック・・・EdTech（エドテック）とは Education（教育）と Technology（科学技術）を組み合わせた造語です。教育分野においても、コンピュータに代表される科学技術を駆使して、学習や教育環境を劇的に変革（イノベーション）しようとする取組です。インターネットを介することで、広い世界での双方向でのコミュニケーションがより可能となったり、教師の業務の効率化が図られたりする等の大きな期待が寄せられています。
- ＊8 ゲストティーチャー・・・学校に招き、授業を行っていただく学校以外の団体や地域住民の方々を呼ぶ総称です。小学校の授業において、昔の遊びを伝承したり、田植えの技能を指導したりする地域住民の方々や、キャリア教育の一環として、プロフェッショナルな職業について講義をする諸団体の方々等、ゲストティーチャーの活用は多岐にわたっています。
- ＊9 ドライ運用・・・床を乾かした状態で使用することです。
- ＊10 ブックパック・・・朝読書の時間などに読んで欲しい本の「読書推進セット」。1回当たり300冊（50冊×6学年）を2か月間貸出するサービス。A、B、Cと3セットあり、1年で小学校9校を巡回します。